

座間市パソコンサポートクラブ  
平成17年度 第9回 合同役員会議事録(案)

2006年2月19日

記録 Bグループ和田

日 時:2006年2月18日(土) 13:30~17:00

場 所:公民館 会議室

出席者:(敬称略)

A グループ	B グループ	C グループ	D グループ	公民館	北地区 文化センター	東地区 文化センター	ホームページ 部会
井上 鈴木	和田 久保田	押田 竹本	木下 松原	山崎	井上	野口	押田 (兼任)

本日の議題

1. 市側最終18年度講座実施表提示とその経緯説明、当該提案への質疑・討論。
2. パソコン相談会について各館年間日程の調整。
3. 新役員の役職決定。
4. 17年度総会関連、議題および担当者の調整。
5. 総会配布資料の準備及び日程。

~~~~~

1. 市側最終18年度講座実施表提示とその経緯説明、当該提案への質疑・討論。

まず、＜市の方針＞が初めて書面で提出され、より明確にされた。その要点は以下の通り。

- ・ 講座名の統一化: 全講座について「ほんとうにはじめてのパソコン講座」に統一。
- ・ 時間: 1講座あたり3時間X4日の計12時間、夜間の講座については、2.5時間X5日も考慮する。
- ・ 内容: 電源入力から始め、自分で終了できる。

パソコンでできることをデモンストレーションで明示する。

ネット検索: マウスで(カテゴリー検索)

キーワードで(文字入力必要)

アドレスで(英数字での入力必要)

メール: 簡単な文章の入力、送受信が自分でできるようになる。

上記に必要な文字入力、文書の作成。「さわって・・・」のような補習は行わない。

講座の時間内にカリキュラムとして全過程を組み込む。

- ・ テキスト: 受講生が家に帰って一人で見た時にわかるものとして。

当クラブの佐藤さん推薦「今日からはじめるやさしいパソコン」はどうか(1,400円+消費税)。

講師分については、市でまとめて注文の便ははかるが、代金はサポートクラブの予算から出す。無理な時は市で購入して貸与とする。休会・退会時には市に返本することとする。

他にサポートクラブから推薦があれば提示してもらいたい。

- ・ 実施時期: 講座の年間予定として4月からの実施は無理なのか。無理であるならば、今後4月の講座予定として組まない。

・ < 今までの確定事項 >

- 自主講座 ワード、エクセル、年賀状など

各館において年 1 回（各 3 日間）は館側で部屋を優先予約する。開催 4 ヶ月前には会場館に予約する。

他の支援として、電話申し込み受付は各会場館で行う。広報は「みんなの広場」扱いで、原稿依頼はサポートクラブで行う。

- 相談会 各館優先予約とする。公民館月 2 回、東月 2 回、北月 1 回。

- 自主活動 部屋取りについては、他サークルと同じ方法で行う。各館で取り方が若干異なるので注意をしてもらいたい。

- コピー 市講座に関する資料のコピーは従来通り各館にて無料で行う。その際は職員がコピーする。（一人につき 10 枚程度まで）

以上の方針に基づいて、市側から前回提示された講座予定表、ほぼ原案のまま最終的に提示された（但し一部実施曜日・日時で調整を急いでいる）。

当役員会でほとんど 1 年間をかけて討議を重ね、提出した提案は殆ど討議されることなく、市の提案に従わざるを得なかった。現役員会としては誠に残念で悔いが残る。

今後も市からの提案をそのまま唯受け入れていかなければならないのか大いに疑問である。このような疑問の幾つかを踏まえて質疑・応答の形で討議し、下記のような結論に達した。時間の関係で未討議のものもある。

・ 役員会の意向をより広く市の講座計画に反映していくためには・・・。

最終提案への質疑という形で標題の可能性を討議した結果、もう少し早い時期に、例えば、予算に関わるような即ち、講座数の増減を伴うような場合は 8 月頃に。各館の講座実施日程などは 10 ～ 11 月頃にクラブ側としての案が纏まれば、市側として話し合いに応じられる旨了解を得た。

これを受けて、次年度から、従来のように各館と個別に調整していくのではなく、各グループでの意見集約期間も担保されるような「活動計画日程プラン」等によって、クラブ案を纏め上げ、3 館の担当者と役員会が一堂に会して双方の案を討議の上、合意を得て決定するという形をとるようにするのが望ましい。

・ 各グループ担当の講座を通して得たクラブメンバーの経験や参加者の意見などを生かすためには・・・。

市側からは以前から反省会などを通して意見をまとめて以後の講座に反映するよう要望されてきたが、講師側として、実際的には同僚同士で実行するのはなかなかむずかしく効果が上がり難い。館の担当者が講座に出て頂き、実態を把握し講評を頂くという言う必要もあるのではないかと。

・ テキストについて

自製か市販かの選択

自製テキストのよさも認めるが、次の点で再考慮が必要。

= 参加者中に家でも一人で勉強できるような本の使用を望む声強い。

= 自製の場合、常に印刷の手間が必要。経理上費用を参加者から徴収しにくい。市側としては、市販のテキスト採用を以前から希望して来た経過がある。

市の意向を汲んで討議の結果、当会のメンバーの佐藤さんが推薦された「今日からはじめるやさしいパソコン」( 1 , 4 0 0 円 + 消費税 ) の採用を満場一致で決定。講習後、家庭での使用を考慮し、あえて XP 版を採用することになった。18 年度 5 月からの講座に間に合わせるように、市側に手配を依頼する。

テキスト新規採用の場合の講師用テキスト費用負担について

会員各々が自分のテキストを持つことが望ましいということで、現会員 30 人分の全購入費用のうち、市側が 30 , 0 0 0 円を負担し、その残りを会として負担することに合意した。従って、会員には直接負担はない。直に購入手配を市側に依頼する。

- 2 . パソコン相談会の各館開催日程を年間通して確保するように市側に強く要望して来たが、今回、全面的な協力を得て実現できる運びになった。会として 3 館の担当者のご尽力に感謝申し上げたい。参加者にとっては、年間通して開催曜日が一定でわかり易く、メリットが大きいと期待される。  
( 詳細については現在一部館側と調整中 )

### 3 . 18 年度新役員の役職

会長            竹本敏郎 ( C グループ長 )  
副会長        島村 優 ( B グループ長 )  
会計           鈴木康治 ( A グループ長 )  
書記兼監査   松原律子 ( D グループ長 )

に決まりました。

### 4 . 17 年度総会関連、議題および各担当の決定。

総会進行    ( 副会長 ) 押田  
総会書記    ( 新書記 ) 松原

開会の辞                            ( 会長 ) 和田  
来賓祝辞    生涯学習推進課 木下課長  
平成 17 年度活動報告            ( 会長 ) 和田    ( HP へ )  
平成 17 年度決算報告            ( 会計 ) 木下 ( 井上代理報告 ) ( 承認事項 )  
役員の改選の件                    ( 会長 ) 和田    ( 承認事項、HP へ )  
会則一部改定の件                  ( 副会長 ) 押田   ( 承認事項、HP へ )  
平成 18 年度活動計画 ( 案 ) ( 新会長 ) 竹本    ( 承認事項、HP へ )  
平成 18 年度予算案                ( 新会計 ) 鈴木   ( 承認事項 )  
閉会の辞                            ( 新会長 ) 竹本

### 5 . 総会配布資料の準備及び日程

総会配布資料としては以下のものを次回役員会 ( 3 月 3 日 ) ままでに各担当者は準備し、当日詳細について検討する。

- ・ 式次第
- ・ 平成 17 年度活動報告

- ・ 平成 17 年度決算報告
- ・ 平成 18 年度活動計画（案）
- ・ 平成 18 年度予算案
- ・ 会員名簿

配布資料の印刷は 3 月 8 日（水） 11：00 am～、東地区文化センターにて行う。

#### 6．各グループの活動状況

A： 1/15～2/5(日)「ほんとうにはじめてのパソコン講座」終了 2/5 相談会

B： 2/1～15（水）「さわって・・・」講座終了。

C： 1/12～2/3「エクセル自主講座」終了

D： 2/16（木）講師研修の自主講座終了、一般受講者 7 名。

~~~~~

- ・ 次回合同役員会（本年度最終役員会）

3 月 3 日（金） 1830 - 2130 北地区文化センター

- ・ 総会配布資料印刷は、

3 月 8 日（水） 1100 am 東地区文化センター

以上